



## 富沢さんの里芋



里芋と長ねぎを作っていますが、「あの品質はそう簡単には出せないよ」というメンバーもいるほど。



9月に出荷するのは石川早生という品種。煮っ転がしにしても、きぬかつぎにしても美味しいですよ♪

### ★毎年、積み上げてきた技術と品質

里芋は縄文時代からあると言われる日本の伝統作物で、秋の味覚としても馴染み深いですよね。おかげさま農場では5人で里芋を作って出荷していますが、そのトップバッターは農場のメンバーからもその技術の高さで一目を置かれている富沢さんです。

里芋栽培の第1のポイントは良い種芋を使うこと。富沢さんは地元で初めて種芋が入ってきた翌年以降、毎年自分の畑で育った芋から良い種芋を選抜し続け、今年で27年目となります。「他所から良い種芋を持ってきても、初めて植える時は種の勢いで育つけど、畑に慣れてくるとだんだん悪い方向に行ってしまう。だから自分の畑の特性にあった芋を選び続けなければいけないんだ」

また里芋は乾燥が苦手。雨が降るのを待つ人もいますが、富沢さんの流儀はどんな作物も夏場は毎週水をあげること。「雨が多少降ってもパラパラと水をはじいてしまうし、畑の中まできちんと水がしみ込まないからね」。また3回の中耕も兼ねた土寄せ、更に追肥も行うことで、品質、収量、美味しさを追求しています。既に高い技術を持っていても、更に上を目指す富沢さん。その姿勢が反映されている里芋、秋の食卓にいかがですか♪

里芋は5kg、10kg箱でも注文可能です。  
里芋は5人のメンバーの持ち回りで出荷していきます。

おかげさま農場は、「食は命」をテーマにしています。化学合成農薬や化学肥料を使わないことを基本としています。

### 【産地情報】

- ◎ジャンボ生落花生（おおまさり）は9月5日から出荷開始予定です。
- ◎大和芋は終了しました。新芋は11月頃から出荷開始予定です。
- ◎新ごぼうは9月から出荷開始予定です。